



住んでいる場所や思い出の場所の過去の様子を知ることはできないの？

国土地理院情報サービス館には過去の情報があるらしいから行けば分かるかもしれないぞ。



【国土地理院情報サービス館とは】

情報サービス館は、日本国土の位置や高さの基準となる電子基準点、三角点及び水準点等に関する情報、時代ごとの状況がわかる地図や空中写真等の保管・提供を行っているところです。

【閲覧・入手できる情報は】

① 「成果表・点の記」 約578,300点

明治23年から現在に至るまでの、日本国土の位置や高さの基準となる電子基準点、三角点、水準点等に関する情報やその位置を記したものです。

② 「地図」 約167,000枚

明治時代から現在までに国土地理院(前身である地理調査所、戦前の陸地測量部を含む)が作成した全国各地の地図です。土地の変化や土地利用の状況、町並みの移り変わり等を時代ごとに知ることができる歴史的にも貴重な資料です。

③ 「空中写真」 約1,382,000枚

撮影時の日本国土の現況を忠実に写している航空機から撮影した画像です。戦前に旧陸軍、戦中戦後に米軍および昭和35年以降に国土地理院が繰り返し撮影したものを保管しています。

また、ご自宅のパソコンやスマートフォンからも、「成果表や点の記」は「基準点成果等閲覧サービス」で、「地図や空中写真」は「地図・空中写真閲覧サービス」にて確認することができます。是非ご利用ください。

◇ 基準点成果等閲覧サービス

<https://sokuseikagis1.gsi.go.jp/top.html>

◇ 地図・空中写真閲覧サービス

<http://mapps.gsi.go.jp/maplibSearch.do#1>



国土地理院情報サービス館

地図や空中写真の例

① 地図(1/25,000 地形図「東京西部」の一部)

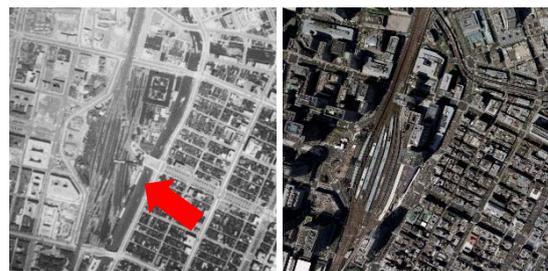


大正8年発行

平成28年発行

2020年夏季オリンピックに向け建設中の新国立競技場は、むかし陸軍の青山練兵場であったことが地図から分かります。

② 空中写真(東京駅周辺)



昭和11年撮影

平成21年撮影

東京駅東側の外堀通りはその名のとおり昔は外濠であったことが昭和11年撮影の空中写真から分かります。(赤い部分)

国土地理院情報サービス館のほか、各地方測量部及び沖縄支所の閲覧所においても、全国の「成果表や点の記」、「地図」及び「空中写真」を閲覧・入手が可能です。

◇ 各地方測量部及び沖縄支所 <http://www.gsi.go.jp/LOCAL-index.html>

一度、これらの情報をご覧になりながら、あなたが住んでいる場所や思い出の場所の過去の様子に思いをはせてみませんか。

(地理空間情報部)